

タイトル (活動概要)	41 輪くぐりリレー	アプローチ (関連する力)	「自分づくり」② 「仲間づくり」⑭		
タイミング (実施時期)	通年	活動 場所	運動のできる広 い場所	所要 時間	5～15分
対象学年	幼・ 小低 ・ 小中 ・小高 中1・中2・中3・高	対象 規模	学級・学年	活動 場面	体育・集会
活動の ねらい	<p><背景> 友達同士触れ合いながら、一つのことを協力してやり遂げる経験が不足している</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お互いに協力することの大切さやグループメンバー同士の一体感を感じる ・自分と友達の身体が触れ合う感覚や手足が動く感覚を味わう 				
準備	・輪（フラフープやたすきなど）				
学習・活動		支援の観点・留意点等		資料等	
1 導入					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>みんなで力を合わせて、輪くぐりリレーをしよう。</p> </div>					
2 主活動					
<p>○やり方を知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8～10人のグループで手をつないで1列になる ・手を離さないように、体全体を使って輪くぐりをする <p>○輪くぐりリレーをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタートとゴールの子を確認して始める <ul style="list-style-type: none"> ・手をつないで円になって (内側向き・外側向き) ・輪のサイズなどを変えて 		<ul style="list-style-type: none"> ・最初に教師と子ども何人かでデモンストレーションして動きのイメージをつかませる ・やっているときは、できるだけしゃべらずにやる ・速さよりも、自分やグループのメンバーが輪くぐりをするときにどのようにしてくれたかをしっかり見たり、感じたりするように伝える 		輪(フラフープやたすきなど)	
3 ふり返り					
<ul style="list-style-type: none"> ・輪くぐりリレーをして感じたことや気づいたことをグループで話し合う ・グループのふり返りをみんなに発表する 		<ul style="list-style-type: none"> ・友達の話を聞くときは、顔を見て最後まで黙って聞くように伝える 			
配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・スピードを競うものではないので、遅くなっても責められることのないように、協力できたかを意識させる ・グループで暖かい言葉かけができたかをどうかを評価する ・全員で協力してできたことを拍手で賞賛し合う雰囲気づくりが大切 				